

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 11 月 13 日作成)

|                              |   |                               |                                |
|------------------------------|---|-------------------------------|--------------------------------|
| 小委員会名                        | 工高教育小委員会  |                               | 主 査 名：堀内 仁之<br>就任年月：2003 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 建築教育委員会   |                               | 委員長名：西谷 章<br>主 査 名：            |
| 設 置 期 間                      | 2003 年 4 月 ~ 2007 年 3 月   |                               |                                |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | 工業高等学校建築科で教職に従事する会員の情報交換と教育資料の充実を図る。<br>研修会の実施<br>教育内容の現状調査と提言<br>教育環境の現状調査と提言<br>その他 時代に即応した命題について考える  |                               |                                |
| 委員構成<br>(委員名(所属))            | 委員公募の有無：有   |                               |                                |
|                              | 堀内仁之(葛西工高) 江口敏彦(市川工高) 三原齊(ものづくり大) 江原哲二(フェリカ専門学校) 岡田義治(宇都宮日建工科専門学校) 黒津高行(日工大) 小島聡(東総工高) 塩澤泰(関一工高) 田中和夫(八王子工高) 土田裕康(土田工房) 當間喜久雄(吉川高校) 中野吉晟(中央工学校 OSAKA) 七星岳也(損害保険料率算出機構) 門馬進(東工大科学技術校) 和田康由(都島工高第二) |                               |                                |
| 設置 WG                        | なし  |                               |                                |
| 2006 年度予算                    | 100,000 円   | ホームページ公開の有無：無<br>委員会 HP アドレス： |                                |

| 項 目                            | 自己評価  |
|--------------------------------|---|
| 委員会開催数                         | 7 回(年度内計画を含む)   |
| 刊行物                            | なし  |
| 講習会                            | なし  |
| 催し物                            | 1. 第 37 回工業高等学校教育研修会の実施 参加者数 41 名<br>実施日 8 月 4 日、5 日(木、金)<br>実施内容 講演 建築環境工学を学ぶためのモチベーションをいかに高めるか<br>建物施設におけるニューラルネットワークの利用について<br>最新の住宅用エネルギー源と設備について<br>見学会 東京歯科大学市川総合病院(鹿島建設 設計施工)    |
| 大会研究集会                         | なし  |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等             | 工業高等学校の教育環境・内容についてのアンケート調査(2004,2005,2006 年度)を実施し当該年度の研修会資料集に報告した。2005 年度分については全国の工業高等学校に配布した。  |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係) | 研修会にて意見交換会を実施した。全国で問題化している生徒数の減少、教員の研修方法および教育内容について討論した。研修会の内容については建築雑誌に報告予定  |
| 委員会活動の問題点・課題                   | 研修会の実施は単に工高の教員のみならず高等専門学校・専修学校の教職員の方々にも参加いただき大いに好評であった。37 回も続いた研修会だから継続したい。実施・運営には小委員会が必要である。<br>工高建築科があり、そこに教職員が存在する限り学会の成果を発信・啓蒙活動を継続する必要がある。工高建築科卒業生が建築産業を支える人材を供給するシステムは当分必要と考えるから。 |

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。